

日本学校ソーシャルワーク学会

第11回全国大会 in 東京

日程：2016年8月27日（土）・28日（日）

会場：法政大学 多摩キャンパス（東京都町田市相原町 4342）

大会テーマ

子どもの育ちと家庭を支える学校

～ソーシャルワークの機能に着目して～



あいさつ

日本学校ソーシャルワーク学会の第11回全国大会を法政大学多摩キャンパスで行うこととなりました。大会に向けて、関東を中心としたスクールソーシャルワーカーや研究者が集まり準備を進めております。大会テーマは「子どもの育ちと家庭を支える学校～ソーシャルワークの機能に着目して～」です。

近年、子どもの貧困対策法やチーム学校など、様々な側面から学校やスクールソーシャルワーカーの役割に期待が寄せられています。一方、「子ども」や「家庭」に関する議論を見ると、その評価や方向性は混沌としています。スクールソーシャルワーカーへの注目が高まる今日こそ、支援対象をきちんと理解したうえでの支援構築が求められています。本大会では、子どもと子どもの育ちについて、その家庭がおかれた環境や社会の動向も含めて検討し、そこに学校やスクールソーシャルワークが、どのような機能をはたすべきなのかについて議論を深めたいと思います。

本キャンパスは都心から離れておりますが、東京都下と思えないほどの緑豊かな環境に恵まれています。この落ち着いた場所で、上記のテーマについて2日間じっくりと考える時間をお過ごしいただきたいと思います。みなさまのご参加をスタッフ一同、お待ちしております。

第11回全国大会 大会実行委員長

日本学校ソーシャルワーク学会 代表理事

岩田 美香（法政大学教授）

1. 大会プログラム

8月27日(土) 事前研修

TIME	PLACE	SUMMARY
9:30	大教室 B棟2階	受付
9:50	現代福祉 学部棟 301	<p>【公開研修】 「教育行政におけるスクールソーシャルワーカー活用事業の意義」 講師：中野 澄（国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター総括研究官） コーディネーター：佐々木 千里（京都市教育委員会等 SSW スーパーバイザー）</p> <p>＜研修のねらい＞ 「いじめ」や「子どもの貧困」、「チーム学校」等様々な切り口で、スクールソーシャルワーカーの活用が注目されており、各自治体においても急速に「スクールソーシャルワーカー活用事業」が進められています。事業を効果的に展開させるためには、様々な施策が打ち出される教育行政全体において、または大きなビジョンの中で、この事業がどのような意味や目的をもっているのか、スクールソーシャルワーカーと教育委員会が共通理解する必要があるでしょう。今回は、まず教育行政の立場から「スクールソーシャルワーカー活用事業」を語っていただき、「子どもの最善の利益」の実現のために教育と学校ソーシャルワークがめざすべき方向性と、それぞれの役割を学びなおす機会にしたいと思います。</p> <p>＜受講資格：特になし（非会員参加可、先着順）【受講料】1,000円＞</p>
11:50	現代福祉 学部棟 302	<p>【専門研修】 「教師・保護者・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの連携によるチーム学校 ～学校心理学の視点から～」 講師：石隈 利紀（東京成徳大学教授、日本学校心理士会会長） コーディネーター：大塚 美和子（大阪府教育委員会チーフSSW）</p> <p>＜研修のねらい＞ スクールソーシャルワーカーは、活動において多様な支援者との連携や協働を必要としますが、その際それぞれの支援者の機能や役割がより効果的に発揮されることを想定しなくてはなりません。そのためには各領域の支援者の考え方や手法を理解することが不可欠です。今回は、学校心理学での「チーム援助」における、教師や保護者、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの連携のあり方をお話しいたします。そのうえで、スクールソーシャルワーカーがめざすチーム支援と、どのような重なりがあり、どのような違いがあるのかを参加者とともに学び思考し、関係者それぞれが活かされる連携を考えてみたいと思います。</p> <p>＜受講資格：学会員（非会員参加不可、先着順）【受講料】1,000円＞</p>

<事前研修申し込みの留意事項>

- ・申し込み及び口座振込の方法は、すべて後記の「2. 大会案内」の順に従ってください。
- ・公開研修及び専門研修は、定員に空きがある場合のみ、当日参加も受け付けます。ご了承ください。

8月27日(土) 本大会1日目

TIME	PLACE	SUMMARY
12:30	大教室 B棟2階	受付
13:00	大教室 B棟202	開会式
13:10		基調講演 「チーム学校の動向とスクールソーシャルワークへの期待」 講師 坪田 知広 (文部科学省初等中等教育局児童生徒課課長)
14:10		
14:25		鼎談 「子どもの育ちと家庭を支える学校 ～スクールソーシャルワークの展望～」 鼎談者 田中 哲 (東京都立小児総合医療センター副院長、児童精神科医) 野田 正人 (立命館大学教授) 岩田 美香 (法政大学教授)
16:50		
17:00		年次総会 会員の皆様は、ふるってご出席ください。
17:30		
		送迎バスにて移動 (情報交換会申込者のみ)
18:30	中華料理 海苑	情報交換会 (参加者は送迎バスにて移動) 定員:120名 (定員になり次第、申込を締め切ります。なお、 <u>当日申込はできません。</u>)
20:30		

8月28日(日) 本大会2日目

TIME	PLACE	SUMMARY
9:00	現代福祉 学部棟1階	受付
9:30	現代福祉 学部棟201	口頭発表
		座長：厨子 健一 (奈良教育大特任准教授) ○「配置型から所管市町村内派遣型SSWへの移行～A市での取り組みについて～」 発表者：三宅 麻美 (京都府教育委員会) ○「滋賀県におけるスクールソーシャルワーカー活用事業における協働について ～竜王町における効果的な協働のあり方の検討～」 発表者：岨中 庸子 (竜王町教育委員会) ○「愛媛県におけるスクールソーシャルワーカー活用事業の現状と課題-香川県との比較から-」 発表者：田村 浩志 (愛媛県立しげのぶ特別支援学校) ○「間接支援型SSW活用事業における展開～指導主事と協働する事業デザイン～」 発表者：渡邊 香子 (横浜市教育委員会)

	現代福祉 学部棟 202	<p>座長：佐々木 啓子（電気通信大学教授）</p> <p>○「スクールソーシャルワークからみた同和教育『河瀬実践』におけるケアリング —校内体制づくりへの手がかりとして—」 発表者：山田 恵子（早稲田大学大学院文学研究科教育学コース博士課程）</p> <p>○「一番ヶ瀬康子の児童福祉研究における〈子ども〉〈学校〉〈専門職〉 ～スクールソーシャルワークの基礎理論の探求に向けて～」 発表者：渡邊 充佳（大阪市立大学都市文化研究センター）</p> <p>○「学校ソーシャルワークの問題点を探る（地域福祉型 SW-CY という発想）」 発表者：渡辺 岳（神奈川県教育委員会）</p> <p>○「子どもの権利擁護についての認識と実践についての調査 ～スクールソーシャルワーカーの役割としての権利擁護～」 発表者：北澤 一樹（東京福祉大学大学院社会福祉学専攻博士課程後期）</p>
12:00	現代福祉 学部棟 203	<p>座長：横井 葉子（上智大学非常勤講師）</p> <p>○「高等学校におけるスクール・ソーシャルワーカーの有効活用に資する 特別支援教育コーディネーターの連携内容」 発表者：佐々木 全（岩手県立大学大学院教育学研究科） 共同研究者：高橋 岳志（かな福祉支援事務所／岩手県教育委員会）</p> <p>○「都立学校『自立支援チーム』派遣事業 施策化の経緯と展開」 発表者：梶野 光信（東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課） 共同研究者：土屋 佳子（立教大学／京都大学大学院人間・環境学研究科）</p> <p>○「定時制高校における SSW と SC の連携による効果的支援 ～校内支援による中退予防と関係機関とのネットワークによる就労支援の実践報告～」 発表者：吉永 恵子（埼玉県立久喜高等学校定時制課程） 共同研究者：小栗 貴弘（作新学院大学女子短期大学部）</p>
		<p>昼 休 憩</p>
13:30	現代福祉 学部棟 201	<p>課題別研究 【重要】各分科会の定員は60名です。 参加申し込み順に第1希望の分科会へと振り分けていきますが、ご希望の分科会が定員に達した場合には、第2・第3希望の分科会へ振り分けさせていただくこともありますので 予めご了承ください。</p> <p>第1分科会「学校ソーシャルワーク実践における コンサルテーションの工夫～効果的なアウトプットを考える～」</p> <p>・「教師へのコンサルテーションの理論と実践でのコツ」 話題提供者：小林 朋子（静岡大学教育学部教授）</p> <p>・「チーム学校で意識するアウトプット—伝達する情報の捉え方—」 話題提供者：前泊 さとみ（愛知県教育委員会 SSW）</p> <p>コメンテーター：福間 麻紀（北海道医療大学講師） コーディネーター：佐々木 千里（京都市教育委員会等 SSW スーパーバイザー）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜趣旨＞ コンサルテーションは、「つながり」の構築を支援するスクールソーシャルワーカーにとって、日常的かつ重要な支援ですが、相手に伝えたいものを、適時適切に伝えるための伝達力や表現の力を必要とするため、そこに悩むスクールソーシャルワーカーも少なくありません。このような状況をふまえ、今回は伝達や表現など、いわゆる「アウトプット」に着目し、学校ソーシャルワーク、学校カウンセリング等異なる立場の登壇者の発表をもとに、効果的なアウトプットによるコンサルテーションのあり方を参加者とともに考えていく機会としたいと思います。</p> </div>

現代福祉
学部棟 202

第2分科会「少年事件から考える必要な仕組み

～検証報告そしてイギリスの制度から～

- ・「川崎事件から」 話題提供者：松原 康雄（明治学院大学学長）
- ・「イギリスの例から」 話題提供者：植田 みどり（国立教育政策研究所）
- ・「エビデンスに基づくSSWと学校プラットフォーム」

話題提供者：山野 則子（大阪府立大学教授）

コメンテーター：坪田 知広（文部科学省児童生徒課課長）

池上 直樹（内閣府事業振興室長）

コーディネーター：比嘉 昌哉（沖縄国際大学准教授）

＜趣旨＞ 2015年2月に起きた悲惨な少年事件の初公判が1年後であるこの2月に開かれました。少年の家族や学校のことなど考えさせられる課題がたくさん見えました。その第三者委員をされ、検証報告を書かれた先生をパネラーにお迎えし、私達は何を考えるべきなのか、検討したいと思います。

そのうえで、ではどうすればよかったのか、個人の力量の問題ではなく、二度と起こさないように、制度、仕組みとして何を作っていくべきか、教育委員会、SSW、学校関係者、それぞれがこれからどうしていけばいいのか、イギリスの学校における制度の紹介、それがイギリスでどうして成り立ったのか、ご報告を受けて、日本におけるチーム学校や内閣府の学校プラットフォームのあり様や対策の実際など国の議論も踏まえて考えたいと思います。

現代福祉
学部棟 203

第3分科会「スクールソーシャルワーク研究における研究方法

～新たな知見と気づき～

- ・「スクールソーシャルワーク研究の学際性と係属性」
話題提供者：岩崎 久志（流通科学大学教授）
- ・「アメリカにおけるスクールソーシャルワーク研究の現状と課題」
話題提供者：馬場 幸子（東京学芸大学准教授）
- ・「日本におけるスクールソーシャルワーク研究の現状と課題」

話題提供者：西野 緑（大阪府教育委員会チーフSSW）

コメンテーター：金澤 ますみ（桃山学院大学准教授）

コーディネーター：大崎 広行（目白大学教授）

＜趣旨＞ 日本学校ソーシャルワーク学会が設立されて、昨年度10周年を迎えました。この間、スクールソーシャルワーク（以下、SSW）研究は、かつての諸外国のSSWの紹介だけではなく、調査研究や実践研究を中心に研究が進められてきています。このことは、2008年の国による「スクールソーシャルワーカー活用事業」の導入とともに、SSWに関する調査研究や実践研究を行う環境が整ってきたことが一因として挙げられます。今後、こうした研究の動きを、より活性化し質の高い研究へと深化させていくためには、また、歴史研究（SSW実践と教育福祉実践との関わり）や行政研究（SSW実践と行政施策との関わり）など、多様な研究領域に視野を広げていくためには、研究方法と研究領域に関する新たな知見と気づきが求められます。

そこで、本課題研究では、SSW研究の学際性と係属性についての知見を示し、日米におけるSSW研究の現状と課題について、研究領域と研究方法に焦点を当てて検討していきたいと思います。

<p>15:30</p>	<p>現代福祉 学部棟 204</p>	<p>第4分科会「スクール（学校）ソーシャルワーク活動を活性化させていくための地域での取り組み」（東北ブロック運営委員会企画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職能団体の取り組み・支援と人材育成～独立型社会福祉士の立場から～」 話題提供者：高橋 岳志（かなな福祉支援事務所、岩手県教育委員会 SSW） ・「SSW 実践の活性化と人材育成～養成校の立場から～」 話題提供者：牧野 昌哲（白梅学園大学講師） ・「SSW 実践の活性化と地域展開～教育現場の立場から～」 話題提供者：沼野 伸一 (元静岡県教育委員会主席主任指導主事・磐田市立豊岡中学校校長) <p>コメンテーター：鈴木 庸裕（福島大学教授） コーディネーター：田中 尚（岩手県立大学教授）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜趣旨＞ スクール（学校）ソーシャルワーク活動を地域で展開していくための取り組みについて、具体的な実践事例を通して検討していきたいと思います。その地域ならではの工夫や利点、さらには課題や問題点などを整理、検討することを通して、スクール（学校）ソーシャルワーク活動の活性化とは何か、そのための地域に求められる要件は何かなどについて認識を深めていきたいと考えています。特に、スクールソーシャルワーカーの確保と養成、さらには活動の内容、支援体制など構造的、本質的な問題を内包しつつも、現実的な要請や課題に応えながら、地域において展開していくうえでの課題について検討していきたいと思います。</p> </div> <p style="text-align: center;">各分科会にて解散</p>
--------------	-------------------------	--



2. 大会案内

1) 参加区分と費用

		会 員	非 会 員	学生/大学院生*	教育関係者**
事前研修		1,000 円 【公開・専門（会員のみ） ともに先着順】			
本大会	事前申込	3,000 円	4,000 円	1,000 円	3,000 円
	当日申込	4,000 円	5,000 円	2,000 円	5,000 円
情報交換会		5,000 円 (事前申込のみ)			

*…社会人院生は除く

**…対象：保育所保育士、幼稚園教諭、小中高大（特別支援学校や専門学校等含）教職員、教育委員会関係者、学童指導員、適応指導教室・フリースクール等の学習支援スタッフなど（すべて現職に限る）

例：「会員」が「事前申込」で「事前研修+本大会+情報交換会」のすべてのプログラムに参加の場合⇒ 1,000 円+3,000 円+5,000 円=**9,000 円**

2) 参加費等支払方法

【ゆうちょ銀行】

名 義 日本学校ソーシャルワーク学会全国大会

記号・番号 17400-93866021

【他金融機関からの振込を利用する場合】

カ ナ ニホンガッコウソーシャルワークガツカイゼンコクタイカイ

店 名 七四八（ナナヨンハチ）店（748） 預金種目 普通

口座番号 9386602

3) 申し込み方法

<事前申込の場合>



①専用の事前申込フォームに必要事項を書き込み、送信する。

<http://form.os7.biz/f/8e8c7f61/> または右の QR コードより専用フォームより必要事項をご記入のうえ、**【7月31日（日）24：00】**までにお申し込みください。

申込直後に送信される【仮受付メール】によって申込内容を確認してください。

②参加費等を振り込む。

【仮受付メール】受信後、入金内容をお確かめの上、①のお手続き後、**2週間以内**に下記の口座へ振込ください。ただし、**7月23日（土）以降に①のお手続きをされた方**につきましては、全て**【8月5日（金）15：00】**までに 振込完了いただきますようお願いいたします。

③【事前申し込み完了メール】を受信する。

大会事務局での事前申込及び振込の確認ができ次第、順次ご登録メールアドレスへ【事前申込完了メール】を送信いたしますので、必ずご確認ください。

↓

<<事前申込受付完了>>

注1：振込後2週間経っても【事前申込完了メール】が受け取れない場合は、お手数ですが大会事務局までお問い合わせください。

注2：振込いただいた費用は、いかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。

注3：事前申込/振込が確認できない場合には、当日申込の扱いとなりますのでご注意ください。

注4：仮受付メールが受信できないとの問い合わせをいくつかいただいております。2016jsssw@gmail.comのメールを受信可能に設定の上、お申込み下さい。

注5：ネット申込が環境により困難な場合には、本紙p12の「FAXによる事前申込書」に必要事項を明記の上、お申し込み下さい。

<当日申込の場合>

- 大会受付にて申込手続きをし、上記①の該当参加区分の参加費をお支払いください。
- 事前研修については、**空席がある場合のみ**ご案内いたします。
- 情報交換会は、当日申込はできませんので、ご了承ください。

④ 情報交換会について



会場は八王子市内の「中華料理 海苑」となります。

メリット1：参加される方に限り、大会終了後に法政大学多摩キャンパスから会場までと、情報交換会終了後に会場からJR八王子駅及び京王八王子駅までの**送迎バスをご利用**いただけます。
(参加者のうち、バスを利用しない場合には、必ず事前にご連絡ください)

メリット2：遠方からのご参加の方々にもごゆっくり全国の仲間と交流できますよう**着席にてお食事**を楽しんでいただけます。

なお、情報交換会は、**事前申込のみ**受け付けます。また、事前申込であっても定員になり次第、申込を締め切らせていただきますので、皆様、お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

⑤ 宿泊の手配について

大会事務局での宿泊の手配は行っておりません。各自でご用意いただきますようお願いいたします。なお、周辺の宿泊施設は予約がとりづらい状況になっております。余裕をもってご予約されることをお勧めします。

⑥ 託児について

託児所は設けておりませんので、ご了承ください。

⑦ 駐車場について

原則、大学構内へのお車での乗り入れはご遠慮いただいております。後述の交通アクセスを参照の上、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

ただし、おからだの不自由な方には、事前に申し出ていただいた方に限り、駐車場のご案内をいたします。大会事務局までご一報ください。(事前申し込みのコメント欄をご活用ください。)

⑧ 昼食について

大学は夏季休業中のため、学食及び生協は終日休業となっております。また、近隣の飲食店やコンビニエンスストアも限られております。事前に昼食をご用意の上ご来場いただくことをお勧めいたします。

3. 口頭発表をされる方へ

下記の留意事項を熟読の上、ご準備ください。

○ 留意事項

1) 発表時間

○発表時間は発表20分、質疑応答15分の計35分間です。

○タイムキーパーが以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後15分：1鈴 ⇒ 20分：2鈴（発表終了）⇒ 35分：3鈴（質疑応答終了・交替）

2) パソコン使用

○発表にパソコンを使用する方は、8月28日（日）9：00～9：20の間に各会場に設置していますパソコンの操作確認及びデスクトップ画面に発表データを保存してください。

3) 配布資料について

○当日、資料の配付が必要な場合は、事前に発表者自身で60部ほど用意するようにしてください。

○配布資料は、8月28日（日）9：00～9：20までの間に各会場内のスタッフに渡してください。

○大会会場での印刷は一切できませんので予めご了承ください。

4) 発表者の欠席について

○発表者が欠席した場合には、発表取り消しとなります。ただし、共同発表者がいる場合には代行することができます。その場合には、必ず事前に大会事務局にご連絡ください。大会当日の場合は、大会受付までご連絡ください。

5) 発表教室について

○本紙にも記載はしておりますが、やむなく当日変更する場合があります。最終版は大会当日に配布の抄録集にてご確認ください。



4. 会場アクセス

82	大宮駅	JR埼京線快速 約32分	新宿駅	京王線準特急 約40分	めじろ台駅	バス 約10分
114	千葉駅	JR総武線快速 約39分	東京駅	JR中央線中央特別快速 約53分	西八王子駅	バス 約22分
25	八王子駅	JR中央線 約3分			西八王子駅	バス 約22分
28	町田駅	JR横浜線 約15分			相原駅	バス 約13分
62	横浜駅	JR横浜線 約13分	※ 新横浜駅	JR横浜線 約36分	相原駅	バス 約13分

多摩キャンパス

内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

※新横浜駅は経由で、乗り換えではありません。

各最寄駅より、各バスで「法政大学」下車

【時刻表(土日祝日用)】

以下は、2016年6月末現在です。変更する場合がございます。

8月1日以降、必ず各バス会社のHPより最新のダイヤをご確認ください。

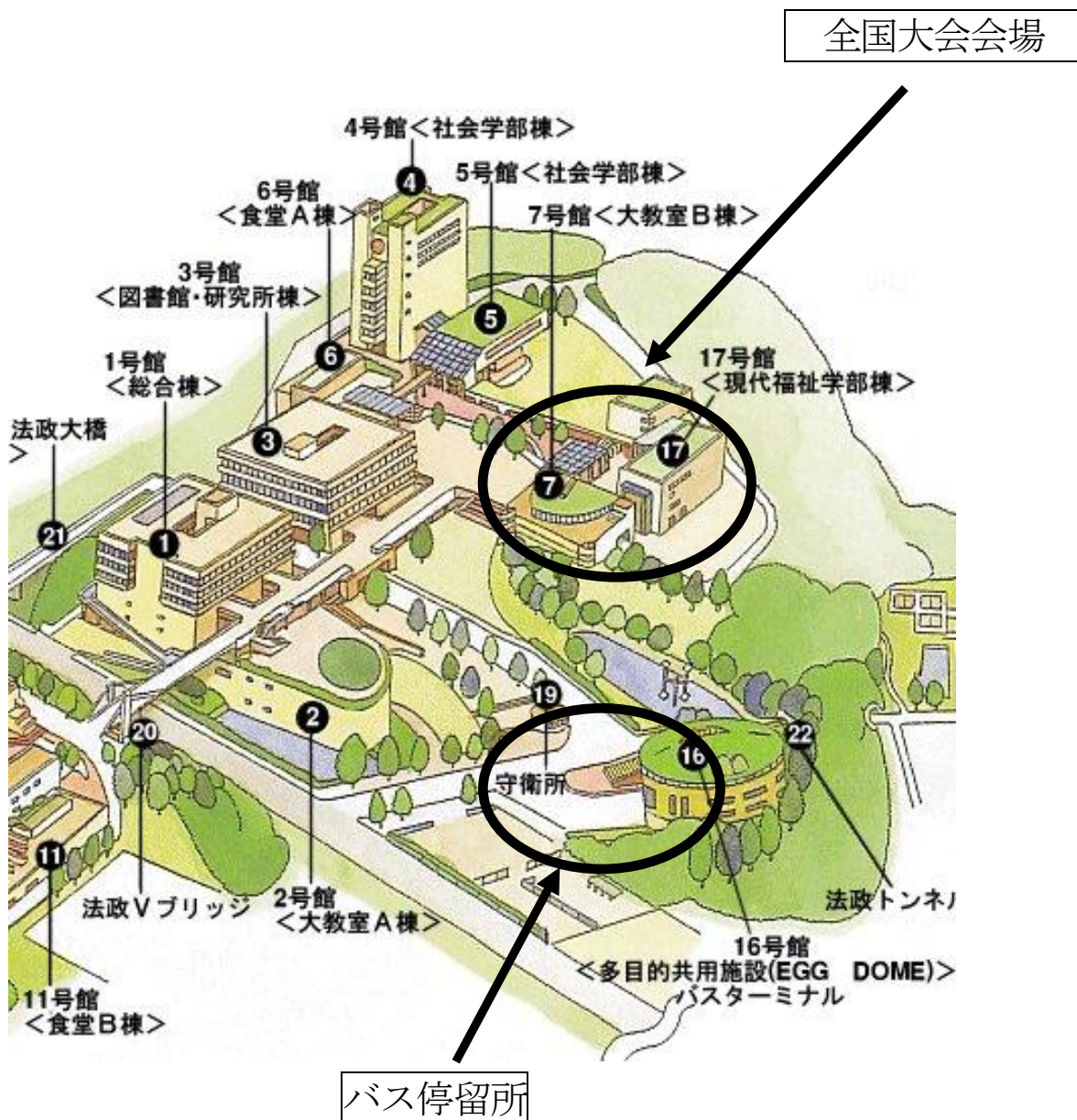
時台	JR中央線 西八王子駅 発	京王線 めじろ台駅 発	JR横浜線 相原駅 発 (土)	相原駅 発 (日)
8時	04 11 20 31 39 52	00 14 21 30 41 49	27	27
9時	00 12 20 31 40 51	02 10 22 30 41 50	04 54	07 42
10時	11 19 31 40 51 59	01 09 21 29 41 50	39	24
11時	11 20 30 39 51	01 09 21 30 40 49	19 59	07 42
12時	00 11 19 31 39 51 59	01 09 21 29 41 49	39	24
13時	11 19 31 39 50	01 09 21 29 41 49	19 59	04 44
14時	00 10 19 31 39 50	00 10 20 29 41 49	39	24
15時	01 09 19 29 42 50	00 11 19 29 39 52	19 59	04 44
16時	00 10 20 30 40 50	00 10 20 30 41 50	39	24

注：大会当日は、夏休み期間中かつ土日ダイヤとなり、本数が非常に少なくなっており、混み合うことが予想されます。ご面倒おかけいたしますが、時間に余裕を持ってご来場ください。

京王バス(西八王子駅発/めじろ台駅発) <http://www.keio-bus.com/bus/>

神奈中バス(相原駅発) <http://www.kanachu.co.jp/dia/>

<法政大学多摩キャンパス見取り図>



大会事務局

ご質問やご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

〒194-0298

東京都町田市相原町 4342

法政大学現代福祉学部実習指導室 (担当: 宮地)

FAX 042-783-2801

E-mail 2016jsssw@gmail.com



F A X に よ る 事 前 申 込 書

～インターネット環境にない方専用～

インターネット環境にない方のみ、FAXでの申し込みを受け付けます。以下に必要事項を記入漏れの無いよう明記または☑を入れ、ネット申し込み同様、**7月31日までにFAXにて**大会事務局までお申し込みいただき、併せて**2週間以内**または**8月5日までに**参加費等をお振込みください。

参加費等のお振込みが確認でき次第、随時【事前申し込み完了 FAX】をご返送いたします。不明瞭な点等については、確認のお電話を差し上げる場合もありますので、予めご了承ください。

その他の取り扱い方法については、大会案内をご確認ください。

<送 信 票 不 要>

FAX 送信先: 0 4 2 - 7 8 3 - 2 8 0 1

(大会事務局 担当: 宮地)

* * * * *

申込日 2016年 月 日

第 11 回全国大会 事前申込書

(ふりがな) *氏 名	()		
*居住地 (都道府県)			
*参加区分	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 学生・院生 (社会人院生は除く) <input type="checkbox"/> 教育関係者		
*電話番号/FAX 番号	/		
*所属名または団体名			
*職種	<input type="checkbox"/> 研究者 <input type="checkbox"/> SSW <input type="checkbox"/> 教育関係者 <input type="checkbox"/> 学生・院生 <input type="checkbox"/> その他 ()		
*事前研修	<input type="checkbox"/> 公開研修 <input type="checkbox"/> 専門研修 <input type="checkbox"/> 不参加		
*本大会	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	課題別研究	第1希望: 第 () 分科会
口頭発表応募希望	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		第2希望: 第 () 分科会
情報交換会	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	送迎バス利用	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要
質問・コメントなど			

注: *…必須項目、SSW…スクールソーシャルワーカー